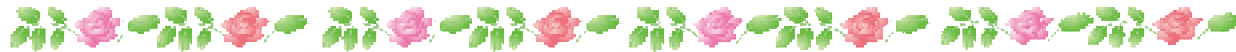


月刊	平成29年	185
	3月号	
発行	「お〜い」編集委員会	
	品川区西大井 4-1-8	
	大井第三地域センター内 ☎ 3773-2000	



祝 伊藤小学校開校80周年

平成29年1月21日(土)、季節外れの暖かな晴天のもと、伊藤小学校体育館にて「開校80周年記念式典・祝賀会」が行われました。当日は濱野区長をはじめ、多くのご来賓や地域の方々をお招きし、80年という節目の年を、学校と開校80周年を祝う会実行委員会が一丸となって盛大にお祝いしました。

校長式辞では、二十歳になった伊藤小卒業生から在校生へ「友だちとたくさん遊んでください」「友だちと過ごした時間を大切にしてください」というメッセージが子どもたちに伝えられました。

また、在校生代表の5・6年生によるお祝いの言葉と合唱では、これまでの伊藤小学校の歴史や1年生が作詞した校歌の替え歌、そして「かならず かならず」の合唱が披露されました。その素晴らしい歌声だけではなく、着座の姿勢や立ち居振る舞いに、ご来賓の方々からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

そして、祝賀会までの休憩時間には「伊藤小ツアー」と題し、校庭南側擁壁の壁画や伊藤グリーンガーデン鑑賞・伊藤キッズコアのコーラスなど、ツアーを満喫していただきました。

午後の祝賀会は「伊藤小らしさ」をテーマに、伊藤ばやしによるオープニングや盛大な鏡開きに加え、PTAによる「クイズ5・6年生に聞きました」や、開校80周年記念キャラクターの「いとじい」が登場する教職員による「寸劇」と「伊藤小音頭」など、伊藤小ならではの手作り感いっぱいのお会となり、これまでお世話になった方々との楽しいひと時を過ごすことができました。

伊藤小学校は、これからも開校90そして100周年に向けて「伊藤小らしさ」を大切に、学校・地域・PTAが一つになって発展して参ります。今後ともご指導・ご鞭撻と変わらぬご支援のほど、よろしくお願ひいたします。(開校80周年を祝う会実行委員長 増山徳郎 記)



学校めぐり



富士見台中学校ソフトテニス部です！

富士見台中学校のソフトテニス部では、現在30名近くの部員が活動をしています。大所帯なものですから、トラブルが起こることも少なくありません。今年度は苦難多き一年でしたが、実りが多い一年でもありました。

都大会には2回出場し、11月に開催された品川区の区民大会では、驚きの優勝と準優勝を獲得。8年生が大活躍する中で、7年生も、1月の7年生大会という山場を3位まで登りつめることができました。

大会というひとつの目標を達成するために、常に大切にしていることは『心・技・体』です。大会や試合の厳しいところは、コートの中ではかならず「勝ち」と「負け」がはっきりと決まること。勝者は驕らず、敗者は挫けないことが大切です。基礎練習から校内での試合まで、どうしても技術向上できるかを各々が模索しながら日々練習に励んでいる姿は、感慨深いものがあります。その一方で、心を磨き、人間性を高めることも忘れないようにと、常に部員に言い聞かせています。テニスのプレイに必ずその人間性が出ます。本校の部員も、心の中で慢心していたり、怠惰な気持ちをもっていたりすると、いつもどこかでミスをしたり、試合の流れが変わり、時には負けてしまうこともありました。心の鍛錬こそが、学校生活においても、テニスのプレイにおいても欠かせません。

この一年間、部員・顧問・コーチが三位一体となり、勝利を目指して精力的に練習を積み重ねてきました。来年度も部で一丸となり、更なる進化を目指します。

(富士見台中学校教諭 ソフトテニス部顧問 酒井将伍 記)



町会めぐり

コミュニティイベント

西大井二丁目町会

2月5日(日)12:00~14:00にウェルカムセンター原・交流施設のスポーツ室と外の芝生を利用してコミュニティイベントを開催しました。

役員・商店会・町会の地区委員・ボランティアのスタッフは朝9:00に集合してテントを張り、焼きそばやお汁粉、フランクフルトやポップコーンの模擬店や、スポーツ室でおこなうゲームの準備をして、皆さんの来場をお待ちしていました。開始時間が近づき寒さも厳しくなり、来てくれる人はいるだろうかと心配もつかの間で、たくさんの方が来てくださり、楽しいひとときを過ごす事ができたと思います。

始まったころ少し雨が降り出して開催が危ぶまれましたが、いつの間にか雨もやみ、2時過ぎに終了しました。町会会員の交流は、何かあったときのことを考えるととても大切だと思います。これからも「名前は

わからないけど、顔は知っている」だけでも、繋がりをつくっていく機会がたくさんあるといいと思います。(倉本 記)

